

録何ノ用ニ立ベキヤ、是大缺典也、今世ニモ、公家ハ猶古ヲ存シテ、常ニ名ヲ稱ス、家ニハ近衛九條等ノ稱有ドモ、一人ノ稱ニ非ズ、大臣納言等ノ官ハ、一人ノ官ニ非ズ、且自己ヨリ稱スルニ名ヲ稱セズ、家號又ハ官名ヲモ稱ベキ義ナシ、人ヨリ呼ニハ、官名ヲモ家號ヲモ稱スルナリ、公家ノミニ非ズ、賀茂ノ神主等モ、常ニ名ヲ稱スコト、公家ト同ジ、賀茂ニ詣シトキ、禰宜等ノ伺公スル番所ヲ見タリシニ、長キ板ニ、數多ノ禰宜ノ名ヲ書テ掛タル有、上ニ從五位下、正六位上等ノ爵位ヲ書シ、下ニ賀茂某抔ト姓名ヲ書セリ、彼等ハ家ニ苗字アリ、左近兵部抔ト云官名モ有テ、常ニ稱ルニハ、苗字ト權ノ官名ヲ唱へ、鴨脚民部、梨木左京ナド云へドモ、社頭ノ名籍ニハ、是ヲ不書、只位階ト姓名計リヲ書スルヲ、日本ノ古法ヲ失ハズ、中華ノ禮ニモ合ヘリ、又俗人ニモ苗字有、官名有テ、常ニハ是ヲ唱レドモ、音樂管絃ノ目錄ニハ、只姓名ヲ書コト、賀茂ノ神官ノ如シ、是古風ヲ存セルイミジキコトナリ、願クハ武家モ、カク有マホシキ也、凡諸侯以下ノ人、縣官ニ謁見シ、其外臣民ノ君上ニ謁見シ、士大夫ノ相見スルニ、苗字官名ノ下ニ、必名ヲ連テ稱スベシ、凡進物ノ目錄ニモ、貴賤トナク、必名ヲ書ベシ、國家ノ記錄、朝廷ノ文書ヲ始メ、士庶人、平日ノ書札ニモ、必名ヲ書スベシ、總ジテ平日ノ交ニ、自己ヨリ稱スルニハ、必名ヲ云コト、公家ノ如クナルベシ、如此ナラバ、吾人ノ名、世ニ通行ノ人ノ名ヲモ互ニ記臆シ、苟且ノ筆札ニモ、名存スベケレバ、歲月ヲ經テモ、其人體紛ル、コトナカルベシ、今ノ世ニハ、名ヲ稱スルコトナキ故ニ、親戚朋友ノ交ニモ、一生其名ヲ知ザルコト多シ、凡天子ヨリ士庶人ニ至迄、名乗ノ外ニ、眞ノ名有コトナシ、世俗名乗ヲ實名ト云ニテ知ベシ、名乗ト云モ、自己ヨリ稱スベキ名目也、

〔玉勝間〕男の名にも某子といへる事

中昔よりこなた、女名に某子といふこと、なべての例也、いにしへにもをりく見えたり、さていにしへは、男の名にも子といへる多し、まづ神武天皇の御世に、石押分之子贄持之子といふあり、